

公益財団法人ひろしまドナーバンク 令和元年度事業実施報告書

(令和 2年 3月 31日現在)

新新型コロナウイルス感染症の影響により、3月以降の骨髄ドナー登録会については、日本骨髄バンクからの要請により開催自粛となり、献眼については申し出がない状況となった。そのほか、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、2月の臓器移植コーディネーター研修会および、一部の臓器提供施設研修会や出前講座の開催を中止する事態となった。

献眼の推進に関しては、昨年度から全国的に献眼数が減少傾向となり、本県ではここ数年ほぼ横ばいの状況が続いていることから、献眼が増えることを目的として献眼の申し出時の連絡先を記載したマグネットシールを作成し、新規献眼登録者に登録者カードとともに配布を行った。

移植医療の推進に関しては、全国的に臓器提供は増加しており、特に脳死下での臓器提供が増加しているものの、本県の臓器提供実績は脳死下での提供の3件であった。ただし、本県における脳死下での提供件数は本年度が最も多い実績となった。主な活動としては、病院・医師・看護師等医療関係者への研修会やシミュレーションを行うことによる院内体制整備を行った。

造血幹細胞移植の推進では、本年度、初めて広島県によるドナー登録説明員確保への取り組みが行われ、それに協力を行うと同時に、大学や協力団体等との連携強化を図った。また、骨髄ドナー登録者確保のため、ドナー登録説明員や広島赤十字血液センターの協力のもと登録会の回数を大幅に増やし開催した。

そのほか、賛助会費、寄付金等からの増収が見込めない状況が続いており、安定した財源確保への対策として、「ドナーバンク支援自販機」設置促進への協力に取り組んだ。

具体的な事業としては、次のような活動を行った。

管理部門

従来同様ライオンズクラブ等の支援団体などからの寄付金及び眼科医療機関等に設置して頂いている募金箱、「ドナーバンク支援自販機」からの浄財により事業に取り組んだ。その他、高額寄附者には感謝状を贈呈した。

1. 一般寄付金

9,757,487円

寄 付 者	金 額
ドナーバンク支援自販機	5,373,184
ライオンズクラブ国際協会 336-C地区	3,000,000
西村みゆき	124,000
しんや眼科	114,000
益田眼科	97,000
広島市医師会（チャリティーゴルフ大会）	74,000
中野美智子	60,000
藤堂眼科医院	54,125
三島弘	50,000
医療法人みなみ会星野外科クリニック	50,000
医療法人社団たかし会尾鍋外科病院	50,000
安藤伸子	47,200
古吉眼科医院	45,500
中野徹	44,000
すぎもと眼科	44,000
芳谷眼科医院	42,000
皆本敦	42,000
医療法人仁光会日谷眼科	40,000
重河康弘	35,000
アイビー眼科	32,015
医療法人社団稲垣胃腸科外科クリニック	30,000
杉本眼科医院	29,000
いたくら眼科	22,020
ノバルティスファーマ株式会社	20,000
中外製薬株式会社	20,000
医療法人社団仁慈会安田病院	20,000
広銀ボランティア口座 41件	18,423
宮田章	17,020
渡部朋子	12,000

高陽中央病院	12,000
山本薬品株式会社	10,000
日本イーライリリー株式会社	10,000
医療法人広和会福馬外科病院	10,000
医療法人社団光仁会梶川病院・フェニックスクリニック	10,000
医療法人社団清流会	10,000
医療法人社団仁友会尾道クリニック	10,000
医療法人社団こね森内科医院	10,000
医療法人社団芸南クリニック	10,000
医療法人社団慶寿会千代田中央病院	10,000
医療法人大竹中央クリニック	10,000
医療法人あかね会	10,000
笹田直美	9,000
坂井進	9,000
余頃礼子	6,000
保久早苗	5,000
寄附額合計	9,757,487

○ドナーバンク支援自販機による寄付金（内訳） 5,373,184円

設置場所	台数	金額
広島大学病院 広仁会館、R I 研究棟、霞体育館、中央診療棟、臨床管理棟3階、 1階待合口、2階待合口、2階みどりの広場、2階エレベーター横 整形外科待合前、BF1階エスカレーター前	11	2,249,706
広島市立安佐市民病院	2	627,178
株式会社福屋	2	329,462
中国労災病院	1	319,456
木村眼科内科病院（1階ロビー、4階ロビー）	2	312,298
三次中央病院（救急病棟内・夜間休日出入口・バス停横）	3	186,377
安田病院	1	154,917
株式会社ヒロテック（ドーム）	1	143,752
戸田工業株式会社（大竹工場2、創造センター1）	3	140,533
（公社）広島市身体障害者福祉団体連合会 （広島総合リハビリテーションセンター）	1	113,424
広島電鉄株式会社 *新規10月設置	2	99,693
JA尾道総合病院	1	94,482
二階堂眼科	1	80,979
株式会社ニシキタクシー	1	70,024
医療法人仁光会日谷眼科	1	60,000

JA 広島総合病院	1	55,811	
広島市医師会	1	48,877	
広島県医師会館	1	45,078	
メリーハウス (ワタキュー)	1	40,573	
荒木脳神経外科病院	1	26,668	
熊谷組 (安佐市民病院現場)	*新規7月設置	1	25,383
つまもと眼科	1	23,286	
寺家駅 (株式会社エムケイ興産)	2	22,834	
医療法人井之川眼科医院	*新規6月設置	1	19,593
医療法人 JR 広島病院	1	19,580	
株式会社広島銀行本店仮店舗	*新規7月設置	1	18,673
JA 吉田総合病院	1	15,960	
松村循環器外科	1	14,493	
梶川病院	1	7,683	
安佐医師会館	1	6,411	
設置台数・寄付額		49	5,373,184

2. 募金箱 (28施設)

680,114円

施設名	金額	施設名	金額
高山眼科	58,210	阿品土谷病院	22,389
森本医院	47,000	藤原眼科	22,124
藤武眼科	40,736	高陽ニュータウン病院	16,581
戸田眼科的場医院	39,190	しらね眼科	16,476
井之川眼科医院	37,399	興生総合病院	16,305
おち眼科医院	37,308	ひとみ眼科	15,714
八本松病院眼科	35,946	小島病院	14,693
石田眼科医院	33,297	山地内科医院	12,514
山代眼科医院	31,951	古吉眼科医院	11,389
つるが眼科	30,891	奈良井眼科	9,362
木村眼科内科病院	30,650	たんきょう眼科	7,600
井上眼科医院	29,238	第33回日本臨床内科医学会	7,000
まっなが眼科	24,914	二階堂眼科	6,186
岸本・海田市薬局	22,690	比治山大学学生支援室	2,361

3. 賛助会員

2,589,000円

法人会員 147口 85団体 (1,470,000円)

個人会員 373口 247名 (1,119,000円)

事業部門

I. 献眼移植のあっせん事業

1. 角膜提供者の募集及び登録に関する事業（定款第4条第1号）

①例年同様、献眼についての啓発用のポスター、パンフレット及び献眼申込書を広島県、市町、ライオンズクラブ、広島県眼科医会、角膜移植手術実施医療機関等を通じて県民への頒布を依頼し、献眼登録者の確保及び献眼推進運動を展開した。昨年に続き、広島県内の主要郵便局へアイバンクポスターの貼付を計画していたが日本アイバンク協会と日本郵政との間で調整がつかず本年度は中止となった。

◎献眼ポスター 420部購入（日本アイバンク協会より）
（郵便局配布の中止分120部含む）

◎献眼パンフレット 作成なし（平成30年度作成分に対応）

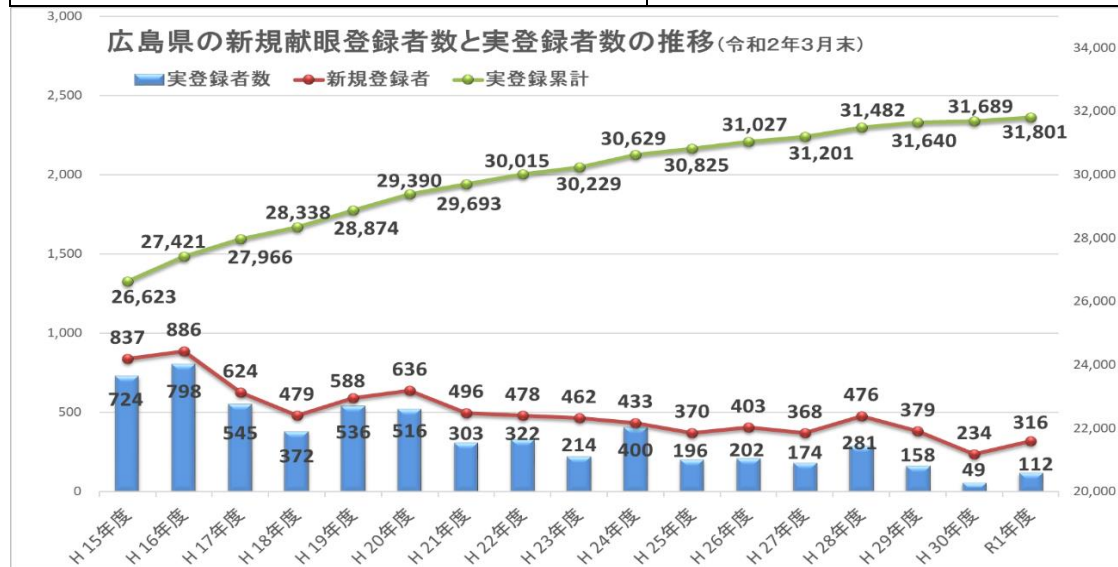
◎献眼登録申込書 作成なし（平成30年度作成分に対応）

◎献眼登録者連絡用マグネットシール 400枚（献眼登録時に配布）

②ライオンズクラブ等が実施した献眼推進運動により送られてきた「献眼登録申込書」について、記載不備などの確認の後、登録後当該申込者に「献眼登録カード」を送付した。令和元年度の新規登録者は316名で、死亡・取消などにより実質112名増の状況である。

◆広島県の献眼登録者（3月末時点） 31,801名（112名増）

前年度末登録者数	31,689名
新規登録者数	316名
献眼者数	18名
取消数（転出・死亡等）	186名
3月末登録者数	31,801名



2. 角膜移植希望者の募集及び登録に関する事業 (定款第4条第2号)

角膜移植希望者の募集は、従来どおり角膜移植手術実施医療機関に受付窓口を設置し、登録及び管理業務を行った。

◆広島県の角膜移植希望者 (3月末時点) 62名

前年度末	手術希望者数	62名 (62眼)
新規	手術希望者数	43名 (43眼)
	移植角膜数	29名 (29眼)
	取消数	14名 (14眼)
3月末	手術希望者数累計	62名 (62眼)

3. 摘出角膜のあっせん及び保存に関する事業 (定款第4条第4号)

3月末現在までにご提供頂いた角膜は次のとおりで、保存眼等を含み県内2施設にあっせんした。

- ① 献眼数 18名 36眼 (保存眼等13眼)
- ② あっせん数 30眼 (うち開設以来保存眼7眼利用)
- ③ あっせん先 ア 県内 (29) ; 広島大学病院 (18)
木村眼科内科病院 (11)
- イ 県外 (1) ; 香川県 (1)

◆全国及び広島県の献眼状況 (3月末時点)

献眼者数	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績
全国	828	869	720	725
広島県	27	22	18	18

4. 献眼・献腎を含め臓器提供者への敬弔

献眼及び献腎等臓器を提供された方に対して、ご葬儀等の席上などでホストライオンズクラブを通じて感謝状の贈呈を行うとともに、弔電、花輪をお供えして弔意を表明した。また、厚生労働大臣感謝状に供物を添えて遺族に伝達した。

- ① 献眼者 18名 (厚労大臣感謝状伝達16名)
- ② 献腎者 (脳死提供含む) 3名 (厚労大臣感謝状伝達 3名)

II. 移植医療の推進に関する普及啓発事業

1. 移植医療に関する知識の普及啓発に関する事業（定款第4条第3号）

1) 一般に対する移植医療に関する知識の普及啓発

①各地のライオンズクラブが実施する献眼推進運動に啓発パネル、幟の貸し出しなどを行うことにより普及啓発活動を行った。

◎パネル利用状況 角膜 5回 ・ 腎臓 1回

◎角膜のぼり利用状況 6回

◎移植医療（臓器用）のぼり利用状況 7回

②広島県眼科医会主催の「目の健康講座」にて、パネル展の開催、献眼についての情報提供及び献眼登録ブースを設置するほか、日本アイバンク協会普及啓発DVDを上映し啓発に努めた。

日 時：令和元年9月29日（日）

場 所：広島国際会議場 B2階

③地区の健康祭りやイベントに、のぼり等啓発グッズの貸出しのほか、広島県臓器移植コーディネーターが自ら出向き臓器提供・移植に関する啓発活動に従事した。

○因島総合病院健康まつり（7/27）

○みんなで学ぼうグリーンリボン（8/31）

○府中市市民健康&福祉まつり（10/5）

○グリーンリボンフェス（10/12）

○三原市民健康・福祉まつり（10/26）

○安佐市民病院健康まつり（11/12）

○おのみち市民健康まつり（11/10）

④出前講座により、医師、広島県臓器移植コーディネーター等が、臓器提供・移植に関する説明を行い移植医療の普及啓発を行った。

○広島国際大学（5/31）

○安田女子大学（7/4）

○福山・府中地区医療ソーシャルワーカー臓器移植研修会（10/18：50名）

○尾道市医師会看護専門学校（11/20）

○比治山女子中学校（12/5）

○広島市南区ブロック介護支援専門員臓器移植講演会（12/20：50名）

○臓器移植講演会&ひろしま地域活性化プロジェクト（己斐地区、12/20：50名）

○呉共済病院看護専門学校（12/26）

○呉市医師会看護専門学校（1/21）

○山陽看護専門学校（2/25）

新型コロナウイルス感染症による中止（2件）

○皆実高等学校看護科（3/3）

○三次看護専門学校（3/12）

⑤出前講座等により、献眼・角膜移植に関する普及啓発を行った。

○尾道市民病院オープンカンファランス（4月 資料提供）

○ライオンズクラブキャビネット研修会（6/3）

⑥広島県眼科医会が主催する「マスコミ懇話会」への参加（6/20）

⑦マツダZOOMZOOMスタジアムでの移植医療の啓発活動（8/4）

○ブースでのリーフレット5,000部配布・大画面による普及映像放映等

○グリーンのTシャツを着用し約100名が野球観戦を行い啓発活動

⑧臓器移植講演会の開催（12/8）

○ところ：広島県医師会館1階ホール

○内容：お笑いライブとともに臓器移植関係者の講演（参加者約100名）

⑨広島県看護協会研修プログラムに移植医療に関する企画及び支援を行った（1/18）

○内容：臓器移植の実際と課題、看護師の役割、組織移植（角膜）

⑩厚生労働大臣及び広島県知事が感謝状を贈呈する移植医療に係る功労者の推薦を行い、社会にその業績を披露した。

i 「臓器移植の普及啓発功労者」（厚生労働大臣）

○池原 堅 ひろしまドナーバンク評議員

ii 「普及啓発活動功労者」（広島県知事：個人）

○土居 優子（日本骨髄バンク認定説明員）

iii 「臓器提供協力」（広島県知事：団体）

○中国労災病院

⑪その他の啓発活動

ア. ドナーバンク支援自販機を積極的に設置して頂くことにより、献眼及び臓器移植に関するポスター的な意味合いでの移植医療の普及啓発を行っている。設置台数は、新たに「井之川眼科1台」「広島銀行本店仮店舗1台」「安佐市民病院建設現場1台」「広島電鉄2台」の5台を設置していただき、49台の設置となった。

イ. マスコミ各社へ移植医療の普及協力の依頼および取材対応を行った。

（中国新聞・広島テレビ・広島ホームテレビ・TSS・RCC・RCCラジオ等）

2) 啓発用のポスター及びパンフレット、バンクだより等の作成及び配布

①公社）日本臓器移植ネットワーク並びに公財）日本骨髄バンクからのポスター、パンフレットを公共施設、関係団体への配布とともに、公財）日本アイバンク協会から購入するポスター等を眼科医療機関及びライオンズクラブ等に配布して、県民への啓発に努めた。

i. 「ひろしまドナーバンクだより」（23,000部）を発刊、配布。

ii. 移植医療に関する啓発グッズや資料を作成し関係方面に配布するほか、一部手製の献眼並びに骨髄ドナー登録に関するチラシをイベント等で活用して頂くために、データ等の資料を作成し提供した。

3) 10月の普及推進月間行事の開催・参加

広島県腎友会や臓器移植関係、骨髄関係のボランティアなどと連携し、企業等の協力を得て移植医療の推進に係る活動を展開した。

①骨髄バンク普及推進月間では、広島県及び広島市などとともに「イオンモール広島

府中」の協力のもと「骨髄パネル展」を開催し、最終日には骨髄ドナー登録会を実施した。

○日 時：令和元年9月30日（月）～10月8日（日）

場 所：イオンモール広島府中 1階 ムーンギャラリー

内 容：パネル展、集団登録会（新規登録者45名）

広島県主催の「骨髄バンク推進街頭キャンペーン」では、ボランティア及びスライリーによる風船及びチラシ入りティッシュの配布により啓発を行った。

②グリーンリボンキャンペーンとして、施設のライトアップやパネル展、パンフレット等の配布、グリーンリボンドライバーステッカーの貼付・バス車内でのポスター貼付により普及啓発を行った。

○グリーンリボンキャンペーンポスター・ステッカー等の配布や展示

協力企業等：広島県タクシー協会 213カ所（5,380枚）、

広島県バス協会（1,300台分）、

県内図書館（14カ所）、

提供病院に展示ブース開設（23カ所）

○街頭キャンペーンを県民文化センター（日本移植学会総会市民公開講座会場）前で開催しパンフレットの配布を行った。（実施日：10月13日 1,000部）

○本通り商店街アーケードおよび福屋広島駅前エールエールA館にライトアップの協力をいただいた。

③ひろしま国際平和マラソンにて、移植医療をデザインとしたTシャツを着用し、ドナー、レシピエント、医療関係者が参加し完走することにより、移植医療の啓発活動を行った。また、主催者の協力のもとブースを設置し、パンフレット等の啓発グッズを配布するほか、カープ球団の協力で作成したオリジナルピンバッジを配布した。

○日 時：令和元年11月3日（火・祝）

場 所：コカ・コーラボトラーズジャパン広島総合グラウンド

企画名：ひろしまグリーンリボンマラソン2019

2. 献眼・献腎・造血幹細胞移植並びにその他臓器移植の推進に関する事業

（定款第4条第7号）

1) 献眼の推進に関する事業

①献眼推進委員会の開催（8/9）

②ライオンズクラブ会員に更なる献眼推進運動への理解と協力を得るため「日本アイバンク協会認定サポーター講習会」を広島市と福山市にて開催した。

（広島地区）日 時：令和元年10月17日（木）午後2時～

場 所：広仁会館 2階 大会議室

出席者：受講者 30 名＋役員 14 名
(福山地区) 日 時：令和元年 10 月 31 日 (木) 午後 2 時～
場 所：まなびの館ローズコム
出席者：受講者 30 名＋役員 11 名

③角膜摘出協力医に関する研修会の開催

献眼が発生した際の協力をお願いするため、統一した摘出手技（角膜片のクオリティを確保）を習得すること、摘出協力医の業務をご理解いただくことを目的とした研修会を、ライオンズクラブと広島県眼科医会、広島大学病院の協力を得て開催した。

○日 時：令和元年 8 月 4 日 (土) 午前 10 時～

場 所：日本アルコン ウェット・ラボ 研修者：5 名

④日本臨床眼科学会アイバンクセッションへの協力

学会参加者へアイバンク活動に対する理解を深めていただくため、角膜移植に用いるドナー角膜作成のための眼球摘出、強角膜片作成の手順および手技習得のためのセッションへのサポートに参加。

○主催：日本角膜学会、日本角膜移植学会、(公財)日本アイバンク協会

日 時：令和元年 10 月 27 日 (日) 9:30～11:30 日 (土) 午前 9 時 30 分～

場 所：国立京都国際会館 1F Room C-2 研修者：10 名

2) 造血幹細胞移植の推進に関する事業

造血幹細胞移植の推進のため、広島県赤十字血液センター、広島県、広島市と患者家族の会「つばさの会」「がんの子供を守る会」「広島国際大学骨髄バンク推進委員会しずく」「山陽女子短期大学」などのボランティア団体等と連携し、骨髄ドナー登録者の確保事業に取り組んだ。

①説明員養成研修会を開催し、広島国際大学しずくから新たに 7 名の方に説明員の資格取得に関する説明を行った。

ア 養成研修会 (6/19=7 名) イ 実地研修会 (適宜)

②説明員養成研修会を開催し、山陽女子短期大学から新たに 13 名の方に説明員の資格取得に関する説明を行った。

ア 養成研修会 (7/22=13 名) イ 実地研修会 (適宜)

③説明員養成研修会を開催し、日本赤十字広島看護大学から新たに 8 名の方に説明員の資格取得に関する説明を行った。

ア 養成研修会 (6/5=8 名) イ 実地研修会 (適宜)

④一般からの新規説明員の確保のため 1 名の資格取得に関する説明を行った。

⑤広島県主催の骨髄ドナー新規説明員確保への事業に参加、協力を行った。

ア 養成研修会 (6/15=7 名) イ 実地研修会 (6/15 及び適宜)

⑥日本骨髄バンク主催の「語りべ事業」に参加、協力を行った。

ア 広島県立安古市高等学校（6/26＝500名 1・2年生対象）

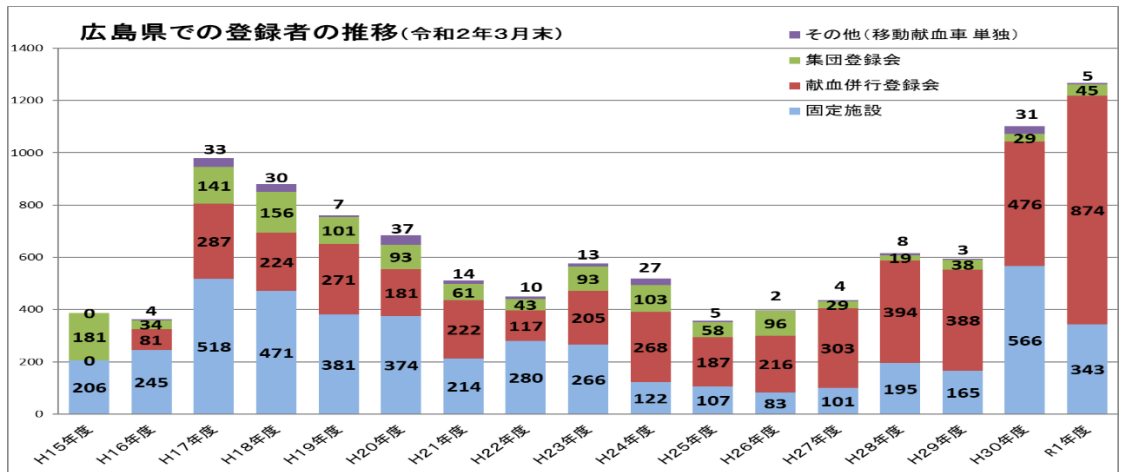
イ みよしいきいきふれあいフェスタ 骨髄バンク講演会（12/6＝60名）
三次中央ロータリークラブ主催

⑦骨髄ドナー登録者の確保対策への協力

公財）日本骨髄バンク等が主体として、実施する骨髄ドナー登録者の確保のため、骨髄ドナー登録会を開催した。

◆新規登録者 874名（令和2年3月末現在）

登 録 会		昨年度	本年度	増 減
事前説明会	回数	0回	0回	0回
	登録者			
集団登録会	回数	1回	1回	0回
	登録者	29名	45名	16名
献血併行型登録会	回数	49回	94回	45回
	登録者	476名	874名	398名
合 計	回数	50回	95回	45回
	登録者	505名	919名	414名



◆骨髄ドナー登録者数・移植希望者数・移植者数・提供者数（令和2年3月末現在）

区 分	全国	広島県	
		実数	人口1万対比
ド ナ ー 登 録 者 数	529,965 (94.0)	9,755 (全国第16位)	80.4 (全国第29位)
患 者 登 録 者 数	1,929 (国内1,307)	23 (全国第17位)	
骨 髄 移 植 者 数 (財団発足後累計)	24,234 (国内23,952)	677 (全国第11位)	
骨 髄 提 供 者 数 (財団発足後累計)	24,245 (国内24,050)	598 (全国第12位)	

注) 提供者と移植者との数字の違いは移植に至らなかった件数があるため

Ⅲ. 移植医療推進のための医療施設における院内体制の整備等に関する支援事業

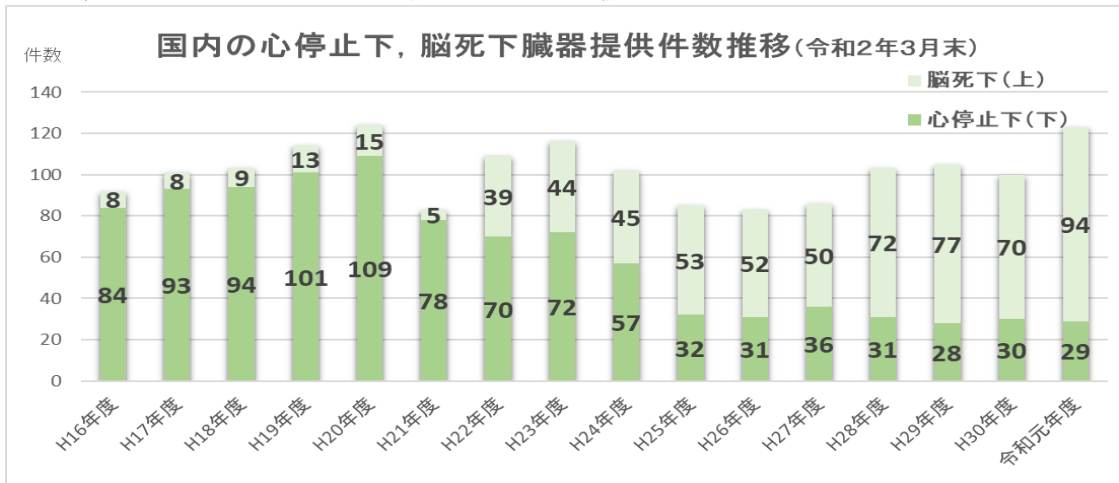
1. 移植医療に関する知識の普及啓発に関する事業 (定款第4条第3号)

一般県民への普及啓発と同時に、医師・看護師等医療関係者の理解と協力が不可欠であることから、広島県行政や各病院の院内コーディネーターと共に、密接な連携を図りながら、院内体制整備を図るためのマニュアル作成に向けての必要な対応に従事し、臓器移植推進に取り組んだ。

◆ 献腎登録者 8,944名 (31名減)

前年度末登録者数	8,975名
新規登録者数	3名
献腎者数	3名
取消数(転出・死亡等)	31名
3月末登録者数	8,944名

◆ 全国の心停止下・脳死下臓器提供の推移 (年別: 令和2年3月末時点)



*脳死下の内、臓器の提供に至らなかった件数を含む

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
脳死下提供数	全国	52	50	72	77	70	94
	広島	0	1	2	2	2	3
心停止下提供数	全国	31	36	31	28	30	29
	広島	2	0	0	2	3	0

1) 救命救急センターなどの臓器提供施設等への訪問

広島県臓器移植コーディネーターが臓器提供施設等を定期的に訪問し、ドナー情報の収集を行い、臓器提供情報を得た際には提供に向けての必要な対応に従事するほか、院内体制の整備等についての協力を行った。

①対象施設 26施設（巡回実施医療機関 28施設）

広島市民病院、県立広島病院、広島大学病院、廣島総合病院、呉医療センター、中国労災病院、三次中央病院、東広島医療センター、安佐市民病院、梶川病院、広島赤十字・原爆病院、マツダ病院、尾道総合病院、尾道市民病院、呉共済病院、福山市民病院、大田記念病院、興生総合病院、寺岡記念病院、荒木脳神経外科病院、一ノ瀬病院、土谷総合病院、五日市記念病院、福山医療センター、中国中央病院、三原赤十字病院、府中市民病院、前原病院

②訪問総数 68回

2) 臓器提供に関する関係者の連絡協議会等の開催及び参加

①広島県臓器提供施設協議会（11/27） 1回

②院内コーディネーター研修会（6/4, 11/27） 2回

（2/26 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

③臓器移植推進委員会（1/24） 1回

3) 院内コーディネーターとともに院内関係者への啓発活動等

院内研修会・勉強会・臓器提供シミュレーションの開催及び支援・協力

本年度はJOT院内体制整備支援事業に3施設（広島赤十字原爆病院・荒木脳神経画外科病院・JA尾道総合病院）が参加され、重点的に脳死下臓器提供施設としての院内体制整備を支援。

①開催件数 16回

○広島赤十字・原爆病院 臓器提供研修会

(7/2 : 10名、1/7 : 100名、2/3 : 60名)

事務担当者研修会（11/19 : 6名）

臓器提供委員会（12/25 : 30名）

ICUシミュレーション（2/6 : 20名）

オペ室勉強会（2/14 : 20名）

○JA尾道総合病院 脳死下シミュレーション（12/11 : 40名）

臓器提供研修会（2/3 : 60名）

オペ室シミュレーション（3/7 : 30名）

○荒木脳神経外科病院 臓器提供研修会（1/30 : 80名）

脳死下シミュレーション（2/6 : 20名）

○広島市民病院 臓器提供委員会（8/21 : 20名）

臓器移植研修会（11/6 : 100名）

○福山医療センター 臓器提供研修会（9/5 : 20名）

○安佐市民病院 臓器提供研修会（1/9 : 40名）

○前原病院 臓器提供研修会（2/5 : 30名）

②臓器提供マニュアル作成への協力

③病院機能評価に係る臓器提供に関する説明 など

4) コーディネーターの学会・研修会への参加

広島県臓器移植コーディネーターが公社)日本臓器移植ネットワーク及び移植学会等が主催する研修会、学会等に参加し、最新の移植情報の収集と資質向上に努めた。

- ①日本臓器移植ネットワーク主催等の研修会(東京・大阪) 7回
- ②中国四国コーディネーター会議(岡山・広島・香川) 3回
- ③日本移植学会(広島) 1回
- ④JATCO総合研修会(東京) 1回
- ⑤日本臨床腎移植学会(東京) 1回
- ⑥日本脳蘇生学会 脳死判定セミナー(広島)への企画・準備・支援

5) 献腎を含めた臓器提供事例が発生した場合の業務

県内で臓器提供事例が発生した場合には、広島県臓器移植コーディネーターが中心となって、公社)日本臓器移植ネットワークの指導のもと、円滑な提供に資するため、次のような業務に従事した。

- ①ドナー家族への対応
- ②院外の摘出チーム及び移植チーム、県警等との調整に従事
- ③摘出臓器の搬送業務に従事
- ④臓器提供に協力した施設及びドナー家族への事後報告及び移植者の経過報告等の実施

2. 移植医療機関及び摘出協力医との連絡調整に関する事業(定款第4条第5号)

広島県臓器移植コーディネーター、骨髄説明員及び事務職員が個別に移植医療機関或いは摘出協力医師等との連絡調整を行った。

- ①角膜移植希望者の登録に関する打ち合わせ
- ②献眼の推進に関する打合せ
- ③臓器移植推進の一般啓発に関する打ち合わせ
- ④臓器提供施設への移植医療推進のための打合せ
- ⑤臓器搬送(消防・警察・広島県)に関する打合せ
- ⑥骨髄ドナー登録に関する打合せ